

白鶴美術館 春季展



「金銅小幡」部分 白鳳時代 重要文化財 横笛を吹く天人



「高野大師行状図画」第一巻第一段「誕生事」部分 鎌倉時代 重要文化財 天竺より飛来した聖人と空海の同観 展示期間：3/7(火)～4/8(土)



「五彩武人図有蓋置」部分 明時代 景德鎮窯 拳法をする武人



「象文尊(臣辰尊)」部分 西周時代 重要文化財 象文



「鍍金花鳥獸文銀杯」部分 唐時代 重要文化財 鴨を襲う雉



狩野永徳筆 「四季花鳥図屏風」六曲一双の内 右隻第三扇 部分 桃山時代 桐と鳳凰 展示期間：4/9(日)～4/29(祝・土)

作品は深く語る

～中国・日本美術の地平～

本館

2017年 3月7日(火)～6月4日(日)

休館日	月曜日 但し3月20日(祝・月)は開館、3月21日(火)を休館																
開館時間	午前10時～午後4時30分(但し入館は午後4時まで)																
入館料	大人：800円 65歳以上・大学・高校生：500円 中・小学生：250円 (大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)																
催し	<table border="0"> <tr> <td>講演会</td> <td>4月30日(日)</td> <td>演奏会</td> <td>5月5日(祝・金)</td> </tr> <tr> <td>新館レクチャー</td> <td>5月21日(日)</td> <td>美術に親しむ会</td> <td>5月14日(日)</td> </tr> <tr> <td>特別ワークショップ</td> <td>5月7日(日)</td> <td>ワークショップ</td> <td>5月中の毎週日曜日</td> </tr> <tr> <td>アートトーク(スライド解説)</td> <td>3月12・26日、4月9・23日、5月28日、6月4日の各日曜日</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	講演会	4月30日(日)	演奏会	5月5日(祝・金)	新館レクチャー	5月21日(日)	美術に親しむ会	5月14日(日)	特別ワークショップ	5月7日(日)	ワークショップ	5月中の毎週日曜日	アートトーク(スライド解説)	3月12・26日、4月9・23日、5月28日、6月4日の各日曜日		
講演会	4月30日(日)	演奏会	5月5日(祝・金)														
新館レクチャー	5月21日(日)	美術に親しむ会	5月14日(日)														
特別ワークショップ	5月7日(日)	ワークショップ	5月中の毎週日曜日														
アートトーク(スライド解説)	3月12・26日、4月9・23日、5月28日、6月4日の各日曜日																

絨毯を形づくるもの・
絨毯に表されるもの

新館



- 阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統鴻森台行「白鶴美術館前」下車
- 阪神高速道路3号神戸線、大阪方面：魚崎出口から1.5km 姫路・明石方面：摩耶出口から6km
- 無料駐車場あり(大型バスも可)

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

(問い合わせ先)
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL.FAX.078-851-6001
<http://www.hakutsuru-museum.org/>

HAKUTSURU

作品は深く語る ～中国・日本美術の地平～ 本館

美術作品との向き合い方は人それぞれ、まさに千差万別です。それを見つめることが文化の蓄積の歴史を生きることであり、私たちがめいめいが自分一人の生命を超えた奥深い何かをそこに発見することが出来るとするなら、本当に素晴らしい体験です。美術作品との出会いが一度限りの私たちの人生に豊かなふくらみを齎す可能性を秘めているのです。

ですから各自が一つ一つの作品に繰り返し密着する中で、いろいろな方向から、まるでシナプス(神経線維のつながり)の如く手を伸ばし、情報回路を盛んに組み立てることによって、恰も赤ん坊のほんの些細な仕草に大切なメッセージを読み取ろうとする親や祖父母のように、作品の新たな局面を発見し、この作品は「何て面白いのだ」と感激して、あわよくば、作品と共に私たちが成長する夢を抱いています。

さあ皆さん、白鶴美術館が蔵する中国・日本を中心とする優れた美術作品をひたすら見つめる行為を継続する中で、時空を超えた地平で生まれた美術の世界に一歩でも肉薄しようではありませんか。

例えば、「五彩武人図有蓋壺」(明時代)に登場する24名の人物の内、上半身裸の二人の髭面男に注目しましょう。どうも拳法らしき闘いをしています。かなりお腹が出ていて余り強そうではありませんが、両者の帯のつけ方は理に叶っていると思えます。すなわち、帯は背面で幅広く、臍下(まさに臍下丹田の辺り)で細くしっかり結ばれており、一番力が出る結び方ではないでしょうか。これ一つ採り上げましても、この壺の上絵付師は侮れない気が致します。

この様に、ほんのささやかな気づきが私たちに訪れた時、それをキッカケとして、展示作品たちが饒舌に語り掛けて来るかもしれません。

白鶴美術館 春季展



象牙文尊(臣辰尊) 西周時代
重要文化財



「鍍金花鳥獸文銀杯」 唐時代
重要文化財



狩野永徳筆「四季花鳥図屏風」六曲一双の内 右隻 桃山時代
展示期間：4/9(日)～4/29(祝・土)

絨毯を形づくるもの・絨毯に表されるもの 新館

絨毯は文様を描きだすパイル糸が主役の作品です。この糸の太さや色数によって、繊細な美しさや大胆で生き生きした文様を描きだすのですが、絨毯の背骨ともいえる経糸、そしてパイル糸を抑え一枚の画面を構成する緯糸も絨毯を形づくる糸のひとつです。その素材も木綿・ウール・シルクと一様ではなく、またその太さはパイル糸が描き出す画の表現にも影響を与える重要な要素となっているのです。

今回の展示では、絨毯及びキリムなどに描かれる様ざまな画と、それを構成する糸の素材・技法との関係性に注目してみます。



エルズルム、アナトリア東部
19世紀後期



アフシャール、ダハジ、
ペルシア南部 20世紀初期



マンチェスター カジャン、
ペルシア中央部 20世紀初期



セネ、ペルシア西部
1900年ごろ



金銅小籠 白鳳時代
重要文化財



高野大師行状図画 第一巻第一段「誕生事」部分
鎌倉時代、重要文化財 展示期間：3/7(火)～4/8(土)



「五彩武人図有蓋壺」 明時代
景徳鎮窯

講演会 日時：4月30日(日) 午後2時～3時30分
講師：神戸大学大学院人文学研究科准教授 増記 隆介 氏
演題：「中国美術と日本美術の特質～仏教美術を中心に～」

演奏会 日時：5月5日(祝・金) 午後2時～3時
演奏：ラヤリ エル ウンス シルクロード
テーマ：「ペルシアを旅しよう。」
— ペルシア絨毯に織り込まれた詩と音楽とダンスのひととき —

新館レクチャー 日時：5月21日(日) 午後1時～3時30分
テーマ：「絨毯に表された文字による」
講師：神戸学院大学 非常勤講師 吉田 雄介 氏
「絨毯に織り込まれる文字」
講師：神田外語大学 専任講師 吉田 京子 氏
「イマーム・アリーへの金言」

美術に親しむ会 日時：5月14日(日) 午後1時30分～3時30分
テーマ：「作品は深く語る～ものづくり人の心に迫る～」
講師：当館学芸員3名

アート・トーク 日時：3月12・26日、4月9・23日、5月28日、6月4日の各日曜日 午後2時～3時
テーマ：「白鶴美術館の名作は深く語る」
当館学芸員によるスライド解説

特別ワークショップ 日時：5月7日(日) 午後1時～4時
講師：大手前大学 非常勤講師 新田 恭子 氏
「織ってみよう綴れ織り」

ワークショップ 日時：5月中の毎週日曜日 午後1時30分～4時
「クルッと反転! 紙が要のミニ屏風」
指導員：甲南大学大学生

ご入館頂きましたら、ワークショップ・イベントのご見学及びご聴講は自由です。
内容詳細につきましては、白鶴美術館(078-851-6001)にお尋ねください。

次回秋季展は2017年9月20日(水)から開催の予定です。